

# 施策評価シート

施策コード	1102	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	教育の充実	所属名 教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市の児童・生徒の学力は、全国水準を上回っていますが、基礎的な知識に比べて活用力がやや低く、また学習意欲が低いという傾向がみられます。</p> <p>○不登校、その他問題行動などを含む学校不適応対策や発達障がい等の児童・生徒に対する教育的支援・指導の充実が求められています。</p> <p>○モラルやマナー・ルールなどを尊重する意識の低下や核家族化の進行、地域社会の結びつきが弱くなるなど、家庭や地域の教育力が低下しています。</p> <p>○少子化の進展により、山間部などの一部の学校では児童・生徒数の減少が著しく小規模化が進む一方で、市街地に近い郊外の学校では宅地開発などにより大規模化が進んでいます。</p> <p>○小中学校施設の耐震診断の結果、多くの施設で耐震補強が必要であることが判明したほか、施設・設備の老朽化が進んでいます。</p> <p>○次代の鳥取市を担う優秀な人材の育成・確保のため、高等学校や大学等の教育機会の充実が必要となっています。</p>
めざす方向	「ふるさとを思い 志をもつ子」を育み、次代の鳥取を発展させる主役となって活躍する人づくりを進めます。
達成するための対策・手段	<p>①「ふるさとを思い 志をもつ子」を育む教育の推進</p> <p>②確かな学力を保障する教育の充実</p> <p>③家庭や地域の教育力の向上</p> <p>④教育環境の充実</p> <p>⑤学校支援施策の充実</p> <p>⑥鳥取環境大学の改革・公立化</p>

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	中学校における不登校生徒の出現率	%	目標	3.09	2.82	2.55	2.28	2
				実績	3.11	2.51	2.98	3.73	3.6
				目標達成率	101%	89%	117%	164%	180%
		(指標の説明) 市立中学校における不登校生徒の出現率(不登校生徒数/全校生徒数)。平成21年度の全国中学校都道府県別最低率である2%をめざす。(基準値は平成21年度)							
	2	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数	校	目標	5	8	13	16	19
				実績	5	9	11	14	20
				目標達成率	100%	113%	85%	88%	105%
	(指標の説明) 中山間地域ふるさと体験活動事業の実施市立小学校数。(基準値は平成22年度)								
	3	小中学校施設の耐震化率	%	目標	74	83.3	87.7	91.7	96.1
				実績	73.6	83	87.6	92	98.6
目標達成率				99%	100%	100%	100%	103%	
(指標の説明) 市立小中学校施設の耐震化率(耐震化された棟数/全棟数)。(基準値は平成21年度)									

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	1,953,276	2,565,204	3,028,278	2,769,522	4,736,730

## 5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>小中学校施設のうち、校舎の耐震補強を最優先で取り組んでおり、平成27年度をもって校舎の耐震化は完了しました。今後は武道館及び体育館の耐震化に加え、老朽化が著しい施設の改修に取り組んでいきます。また、特別な支援を必要とする児童生徒がその能力や可能性を最大限伸ばし、社会の中で生き生きと暮らしていくための教育支援体制の充実を図るため、特別支援教育支援員の配置を拡大しました。さらに、郷土の人物資料を作成し道徳の時間に活用したり、中山間地域での体験活動を増加させることで、郷土愛を醸成し豊かな心を育みました。</p>
---	--

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>学校施設の耐震化への対応は、おおむね整備することができたが、築30年以上の施設が4割以上となる学校施設の老朽化に対応するため、大規模改修に計画的に取り組んでいく。加えて、生活様式の変化や、温暖化による気温の上昇などを踏まえた快適な教室環境の改善も必要となっており、猛暑対策やトイレの洋式化などに取り組んでいく。また、特別な支援を必要とする児童生徒への支援対策を充実させるため、特別支援教育支援員の拡充に加え、一人一人のニーズに対応した学校教育の充実を図る。</p>

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000575	重点事業区分	リープロ1	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費			予算事業コード	01-09-01-03-84-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験を行う。
手段 (どうするのか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙づくり体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	佐治町の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	
	年度別実績	市内5校(賀露小・明德小・湖山西小・津ノ井小・中ノ郷小)が2泊3日の体験活動を実施。	市内9校(賀露小・明德小・湖山西小・津ノ井小・中ノ郷小・大正小・末恒小・美和・遷喬小)が2泊3日の体験活動を実施。	市内11校(宮ノ下小・美和小・中ノ郷小・大正小・賀露小・遷喬小・末恒小・湖山西小・津ノ井小・明德小・福部小)が2泊3日の体験活動を実施。	市内11校(湖山西小・富桑小・中ノ郷小・大正小・日進小・賀露小・美和小・湖山西小・遷喬小・稲葉山小・末恒小・明德小・宮ノ下小・福部小)が2泊3日の体験活動を実施。	市内20校(浜坂小・福部小・中ノ郷小・岩倉小・湖山西小・美和小・富桑小・遷喬小・湖山西小・末恒小・明德小・日進小・醇風小・賀露小・宮ノ下小・大正小・美保小・津ノ井小・稲葉山小・西郷小)が実施。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,861	6,147	6,931	8,545	11,274	
	直接経費 A	2,362	4,662	5,474	7,041	11,274	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	2,300	4,600	5,400	7,000	11,200
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	62	62	74	41	74
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	農山村生活体験活動の実施校数	校	目標	5	8	13	14	16
		実績		5	9	11	14	20	
	(指標の説明) 農山村生活体験活動の実施校数								
2		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校教育課 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P267(教028)</p> <p>【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性を育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験となることを期待して実施する。</p> <p>【事業の成果】 佐治町内で小学生が2泊3日の体験活動を行う。 ○農林家暮らし体験、林業体験、郷土料理づくり体験、魚のつかみどり体験、和紙づくり体験、星空観察、座禅体験、座禅体験、佐治谷話し など 平成25年度：小学校11校 平成26年度：小学校14校 平成27年度：小学校20校</p> <p>【今後の課題・方向性】 新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくため、今後も計画的に実施していくことが大切である。佐治地域だけでなく、他の地域に出かけて体験活動をするなど、新たな取り組みを検討する時期に来ている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	農山村生活体験活動の実施校数	100%	113%	85%	100%	125%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	「ふるさと鳥取」の自然や文化を活用し、鳥取市のめざす子ども像「ふるさとを思い、志をもつ子」の育成に直接つながっている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	体験活動に参加した児童は、ふるさとの歴史や自然の良さを実感し、山間地域に暮らす人々への関心が高まっている。また、地域の活性化にもつながっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	報償費、宿泊費、交通費等の補助を行うことで保護者負担が軽減され、通常の宿泊学習ではできないような多様な体験活動を行うことができるため、効果を上げている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	内容を変更しにくい学校行事であるため、市内で44校中20校の実施にとどまっているが、参加児童は毎年異なるため、多くの児童が体験することができる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>新市の豊かな地域資源を活用した教育活動を支援していくため、今後も実施校を増やしていくことが大切である。今後も昨年度と同様に、各校が次年度の学校行事を計画する前に希望調査を取り、新たに本事業に取り組みでもらえるように働きかけていきたい。また、受け入れ時期を冬期にも広げるなど一年を通じて実施できる体験活動としてのプログラムを開発していきたい。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000560	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学力向上推進事業(学力向上推進)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学力向上推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-52-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	児童生徒個々が「確かな学力」を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	平成24年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	平成25年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	平成26年度 基礎学力定着支援事業	平成27年度 基礎学力定着支援事業	
	年度別実績	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備	基礎学力定着支援事業	基礎学力定着支援事業	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,046	10,436	10,241	4,938	5,178	
	直接経費 A	9,296	9,693	9,512	4,186	4,442	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,296	9,693	9,512	4,186	4,442
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	回	目標	3100	3100	3100	3100	3100	
			実績	2474	2654	2683	2791	2961		
		(指標の説明) 地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数								
	2	委託数	地域	目標	18	18	17	0	0	
				実績	18	18	17	0	0	
	(指標の説明) 学力向上推進事業の委託数									
3	参加児童生徒数		目標	0	0	0	4000	4000		
			実績	0	0	0	4720	5266		
	(指標の説明) 参加する児童生徒数									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P240（教032）</p> <p>【事業の概要】 本市は全国学力・学習状況調査で良好な状況を維持しているが、個々の児童・生徒の学力の分布状況や課題を分析する中で、基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒もある。地域の人材を活用しながら進める「基礎学力定着支援事業」により、「家庭や地域との連携」を図りながら学力向上に努めている。</p> <p>【事業の成果】 地域人材を活用して実施しており、学校と地域の協働が進んでいる。 特に、長期休業などで基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒のみならず、多くの児童・生徒の学力向上や学習習慣の定着に効果が見られる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域人材の確保が難しい地域もある。今後も、保護者や地域への情報発信を推し進め、地域の声を反映させるとともに、地域人材を積極的に活用し、学校・保護者・地域が協働した学力向上策を進めたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	80%	86%	87%	90%	96%
	2	委託数	100%	100%	100%		
	3	参加児童生徒数				118%	132%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	すべての児童生徒を対象とした事業であり、市が関与し実施することが妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	全国学力・学習状況調査では、小中学校とも旅行業結果を維持しており、この事業の成果と考えられる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	放課後や長期休業中に実施しており、授業以外の学力向上策として有効かつ効率的に実施されている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての児童生徒を対象にしているが、学力の定着が不十分な児童生徒への個別支援にも活用されており、児童生徒の実態に即した事業と成っており有効である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成26年度から全小中学校で実施することとし、支援者も対象児童生徒数も増加している。今後もすべての児童生徒を対象とした学力向上策として継続していきたい。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000552	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中学校
意図 (どのような状態にするために)	市立小中学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			小中学校で企画立案した計画書を査定し、学校運営予算として配分する	小中学校で企画立案した計画書を査定し、学校運営予算として配分する	小中学校で企画立案した計画書を査定し、学校運営予算として配分する	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,012	21,683	21,374	21,527	18,970	
	直接経費 A	19,763	19,455	19,188	19,270	18,970	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	12,308	18,970
	一般財源	19,763	19,455	19,188	6,962	0	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施学校数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			校	目標	0	0	60	60	60
			実績	0	0	66	66	66	
		(指標の説明) 計画書に基づいて特色ある取組を実施した小中学校数							
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P237（教026）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>本事業は、従来より継続してきた「特色ある学校づくり推進事業」をベースとしながら、学校が提出する実施計画書の内容に応じて予算配分する方法を導入した事業であり、平成16年度より実施してきた。</p> <p>現在地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。この事業は、そのような学校経営を後押しするために、学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して、各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で、必要な予算を措置する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①一律支援予算による事業 児童・生徒数に応じて配分する予算で、従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、自主的に学校が運営できる予算として配分する。</p> <p>②特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して評価・査定を行った上で予算配分する。</p> <p>③人材活用支援予算による事業 学校教育活動への地域の人材の活用や、広く社会で活躍する先輩を招聘しての事業について予算配分する。（【小】学校支援ふるさと人材活用事業費【中】ふるさとの先輩活用事業費との統合により新設） 平成25年度：19,188千円 平成26年度：20,093千円 平成27年度18,884千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。地域からも評価が大変高い事業であり、今後は、事業内容の見直しと改善を図りつつ充実させていく方針である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施学校数			110%	110%	110%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	各学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性等を踏まえた「自立と創造の学校づくり」を進展させ、特色ある教育活動を推進する中で、教育目標の達成に資することができている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	それぞれの学校で、児童生徒及び保護者、地域の願いを取り入れた教育活動が展開されており、取組内容は深化・充実の傾向にある。児童生徒の変容に密接につながっており、各種の評価においても肯定的評価が多く、大変有効な事業といえる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	小学校は鳥取市小学校教育研究会に、中学校は鳥取市中学校教育振興会に委託して事業を実施している。各教科や領域、分掌間での連携や情報交換も活発に図られており、有効かつ効率的な手法であるといえる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市内のすべての小中学校で実施されており、対象として公平かつ適切である。在籍児童生徒数に応じた予算配分を行っており、受益者負担の面でも適切かつ適正であるといえる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	それぞれの小中学校で、児童生徒及び保護者、地域の実態や願いが加味された特色ある教育活動が推進されており、「自立と創造の学校づくり」の上で十分な成果が見られ、なくてはならない事業といえる。委託事業として今後も継続して実施したい。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000549	重点事業区分	リープロ1	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	その他
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業費		予算事業コード	01-09-01-03-26-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校生徒
意図 (どのような状態にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の体験活動を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	市内全18中学校で実施。第2学年生徒1,713名が参加。	市内全18中学校で実施。第2学年生徒1,584名が参加。	市内全17中学校で実施。第2学年生徒1663名が参加。	市内全17中学校で実施。第2学年生徒1725名が参加。	市内全17中学校で実施。第2学年生徒1631名が参加。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,872	3,746	3,793	2,722	2,659	
	直接経費 A	3,122	3,003	3,064	1,970	1,923	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,122	3,003	3,064	1,970	1,923	
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明) 体験活動後の生徒アンケートにおける肯定的な回答率	%	目標	0	0	80	80	80
	実績	0	0	85.2	94.7	94.7			
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3366</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P236(教023)</p> <p>【事業の概要】 事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間を基本とした体験活動を行う。中学校2年生の社会体験活動は、合併前からほとんどの市町村で取り組まれていた事業であり、合併後も中学校全17校で実施している。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度：3,064,000円 平成26年度：1,970,000円 平成27年度：1,923,000円</p> <p>【今後の課題・方向性】 教育基本法や学校教育法の改正等では、「生きる力」を身に付け、しっかりとした勤労観・職業観を形成・確立する必要性が示されており、様々な社会体験活動を行うことで地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を育成する。 また、地域で生徒を育むという意識の高揚を図るとともに、学校教育の中に保護者や地域の意見を取り入れることにより、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思い志をもつ子」の育成や、大人全体で担う新たな教育システムの創造につなげていく。 体験活動日数については学校裁量として、今後も事業を継続していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	生徒アンケートの肯定的な回答率			107%	118%	118%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域の人々と関わりながら様々な社会体験活動を行うことを通して、豊かな人間性や、事故の課題を見つけ解決していこうとする意欲・態度を育てることができた。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域で生徒を育むという意識の高揚を図るとともに、学校教育の中に保護者や地域の意見を取り入れることによって「ふるさとを思い 志をもつ子」の育成や、大人全体で担う新たな教育システムの創造につながっていった。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、校区内や周辺地域の事業所・施設等で体験活動を行うため、「鳥取市ワクワク推進協議会」に委託することで実態に合った実施ができた。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内全中学校の2年生全生徒を対象に実施し、肯定的評価を得ることができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	この事業は、中学校でのキャリア教育の充実や「ふるさとを思い 志をもつ子」の育成を目的とし、成果を上げ続けている。今後も継続して実施する必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000677	重点事業区分	リープロ1	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食食育推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	研修費(学校給食)		予算事業コード	01-09-05-03-06-03	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	児童生徒、保護者、学校給食関係職員、食材生産者
意図 (どのような状態にするために)	食育・地産地消の推進を図る。
手段 (どうするのか)	普及啓発、研修、交流給食、親子料理教室を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食	普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室	普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室	
	年度別実績	生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室	普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室	普及啓発資料の作成 (学校給食イメージキャラクター作成) 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	198	240	1,169	1,085	1,685	
	直接経費 A	198	240	440	333	214	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	198	240	440	333	214
人件費 B	0	0	729	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	交流給食回数	回	目標	9	9	17	17	17
				実績	17	17	13	21	20
	(指標の説明) 児童生徒と食材生産者の交流給食回数。								
2	親子料理教室回数	回	目標	0	0	5	5	5	
			実績	0	0	5	4	3	
(指標の説明) 親子料理教室の開催回数。									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校給食係 0857-20-3372</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 学校給食の普及啓発、食育の推進、業務運営の充実・改善、並びに関係職員の資質向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 市民の学校給食への理解を深めるため、関係職員における食育の充実を図る研修を行った。また、地産地消を通じた食育を推進するため、生産者等と児童生徒による交流給食会、親子料理教室を積極的に実施するほか、とっとり市報、給食(食育)だよりへの掲載を通じて、毎月19日食育の取り組み、食育の推進や地元食材の普及啓発に努めた。 (平成27年度実績) ○生産者等と児童生徒による交流給食会 20校 22回 うち 収穫体験 1校 1回 調理実習 2校 3回 ○学校給食親子料理教室 3校 3回 ○鳥取市学校給食イメージキャラクター及び愛称募集 36校 1,784点</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も食育について、普及啓発及び推進を図るため、交流給食会や親子料理教室の実施継続が必要である。また、研修等により関係職員の資質向上を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	交流給食回数	189%	189%	76%	124%	118%
	2	親子料理教室回数			100%	80%	80%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地場産物を給食により多く取り入れ、それを生きた教材として活用した食育推進事業を、学校、家庭、地域が一体となって実施するため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地場産物生産者と児童生徒の交流給食会は、農林水産業への理解、自然や生産者へ感謝する心を育み。親子料理教室は、調理への意欲、地域への理解、故郷を愛する心の育成等教育的効果があると評価する。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校給食を生きた教材として活用した食育推進、普及啓発等の観点から有効である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全市域の学校において、食育推進事業を行うことにより、公平性を図っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>献立の企画、地産地消及び食育の推進、事業の充実を図りながら、継続的に実施する。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000562	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	校区再編事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市校区審議会条例
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	内部管理
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	校区審議会運営事業費		予算事業コード	01-09-01-03-59-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての学区
意図 (どのような状態にするために)	小中学校の児童生徒にとって、より良い教育環境を整える。
手段 (どうするのか)	校区審議会の答申をもとに、該当地域の住民や保護者等の意見を集約する中で、必要とされる校区再編を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 第10期校区審議会を開催し、校区再編にかかる平成21年度からの審議経過について中間報告書を公表する。佐治・用瀬地域の中学校にかかる校区再編について校区審議会にて審議して頂く。	平成24年度 第11期校区審議会を開催し、校区ごとの再編について審議していただき、方向性が決まった校区について随時答申を受ける。	平成25年度 第11期校区審議会を開催し、校区再編に係る最終答申を受ける。答申後、教育委員会として最終的な方向性を決定する。	平成26年度 第12期校区審議会を開催し、校区問題を審議していただく。	平成27年度 第12期校区審議会を開催し、校区問題を審議していただく。	
	年度別実績	第10期校区審議会を4回開催。全地域の校区のあり方及び地域からの校区再編を求める意見について審議を行い、佐治・用瀬地域の中学校のあり方について8月22日に答申した。引続き第11期校区審議会を3回開催。	第11期校区審議会を7回開催。西部地域の検討案を含めた全地域の校区のあり方について「中間とりまとめ」を公表し、地域や保護者等に対する説明会・意見交換会を継続して開催した。	第11期校区審議会を4回開催。西部地域の中学校あり方について地域や保護者等の意見も取り入れ答申した。また、全地域の校区のあり方について、審議経過のまとめと申し送りを第12期校区審議会へ託し2回開催。	第12期校区審議会を7回開催。福部地域の学校のあり方について地域や保護者等の意見も取り入れ答申した。また、全地域の校区のあり方について審議を進め、審議会の「中間まとめ」案の公表に向けた議論を継続。	第12期校区審議会を10回開催。南中のあり方、鹿野地域の学校のあり方を答申、千代川以西エリアの学校のあり方についての中間答申をした。最終的に次期校区審議会への申し送り事項をまとめた。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,594	9,505	17,524	18,077	15,818	
	直接経費 A	598	594	768	776	1,104	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	598	594	768	776	1,104		
人件費 B	8,996	8,911	16,756	17,301	14,714		
職員数の内訳	正規職員	1.20	1.20	2.30	2.30	2.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		審議会の開催回数	回	目標	8	8	8	8	8
	実績	7	7	6	7	10			
(指標の説明) 校区審議会の開催回数									
2		目標		0	0	0	0	0	
	実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0	
	実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 校区審議室 0857-20-3089</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算</p> <p>【事業の概要】 平成18年度から、合併後の学校配置及び校区の設定について校区審議会に諮問し審議がなされている。 今までに、宮ノ下小と岩倉小の校区再編、佐治中と用瀬中の統合、青谷中と気高中の現位置での改築、福部地域の幼小中一貫校の設置の答申を出すに至っている。</p> <p>【事業の成果】 校区審議委員の委員の任期は2年間で、第12期校区審議会任期終了の11月までに審議会を10回開催し、南中学校のあり方、鹿野地域の学校のあり方を答申、千代川以西エリアの学校のあり方についての中間答申を行った。また、次期校区審議会への申し送り事項をまとめた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 児童生徒にとってより良い教育環境を整えるため、全市域を対象に学校配置と校区の設定について検討を進めていく必要がある。 特に、人口減少に伴う学校の小規模化は今後も各地で進むことが予想される中、地域と学校の関係性や適正配置、通学距離といった視点を含めた審議が求められている。 また、地域としての意向を集約するため、各地域で学校のあり方を議論する組織づくりを支援し、地域の意見を踏まえた校区審議を展開していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	審議会の開催回数	88%	88%	75%	88%	125%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	校区の再編については、市が関与して行うべき事業であり、妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	小中学校の児童生徒にとって、より良い教育環境を整えるための審議を行っており、有効な事業である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の住民や保護者等の意見を集約する中で、必要とされる校区再編を行うには、市が実施することが効率的な事業である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内すべての学校区を対象として審議の対象としており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>時代に対応したより良い教育環境の構築のため、校区のあり方を検討する校区審議会の審議は大変重要である。このため、審議会で活発な議論が実施されるよう努めるとともに、答申された内容について、今後も地域や保護者等へ正確な情報提供や選択肢を説明し、丁寧に意見集約していく必要がある。 また、審議会において「地域で議論する組織づくり」の推進と併せ、中学校区エリア等ごとに議論の方向性(テーマ)を提案していく手法が検討されるなど、精力的に取り組まれており、学校区に関する課題に対する審議は今後も継続していく必要がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000687	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(浜坂小屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成30年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	浜坂小学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務  事業の再検討(増改築 ~)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	5	13	7	5	8
			実績	5	13	7	5	8	
			(指標の説明)						
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)							
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】          浜坂小学校の昭和49年に建設の屋内運動場について、現在のクラス数による基準面積の半分程度の広さしかない。          また、同年建築同構造の屋内運動場が再調査により耐震性が低いことが判明したことがあり、再調査及び増改築を含めた検討を行い、実施計画を予定する。          校舎 建築年 構造 延床面積 I s 値          S 4 9年 鉄骨造平屋建 6 3 2㎡ 0. 7 7</p> <p>【事業の成果】          地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】          事業の見直しを行い、平成29年度に実施設計し、平成30年度で増改築工事を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か            ・対象と意図は現行でよいか            ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか            ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か            ・高い費用対効果が得られているか            ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か            ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	事業の見直しを行い、平成29年度に実施設計し、平成30年度で増改築工事を予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002978	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(神戸小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	神戸小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-37-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	神戸小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	6,707	50,175	
	直接経費 A	0	0	0	5,955	48,704	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	23,609
		地方債	0	0	0	5,100	24,900
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	855	195
人件費 B	0	0	0	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
				実績	0	0	7	5	8	
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 5 (教0 0 1)</p> <p>【事業の概要】 昭和47年及び昭和56年に建設された神戸小学校の校舎2棟について、耐震補強工事を行った。 &lt;耐震改修&gt; 鉄骨ブレース9構面設置</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度で改修完了。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度で改修完了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002979	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(西郷小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	西郷小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-39-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	西郷小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	平成27年度 耐震補強工事	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	5,817	97,417	
	直接経費 A	0	0	0	5,065	95,946	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	24,861
		地方債	0	0	0	4,700	68,700
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	365	2,385
人件費 B	0	0	0	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	5	8		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 6 (教003)</p> <p>【事業の概要】 昭和47年に建設された西郷小学校の校舎について、耐震補強工事を行った。        &lt;耐震改修&gt;        鋼板内蔵RC耐震ブレース6構面設置        &lt;老朽改修&gt;        屋上防水改修</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度で改修完了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度で改修完了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002980	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(米里小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	米里小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-42-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	米里小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果す。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	平成27年度 耐震補強工事	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	3,215	38,901	
	直接経費 A	0	0	0	2,463	37,430	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	18,705
		地方債	0	0	0	2,100	18,700
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	363	25
人件費 B	0	0	0	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	5	8		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 6 (教0 0 4)</p> <p>【事業の概要】 昭和55年に建設された米里小学校の校舎について、耐震補強工事を行った。 &lt;耐震改修&gt; 鉄骨ブレース6構面設置</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度で改修完了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成27年度で改修完了。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002981	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(浜村小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	浜村小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-43-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	浜村小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	7,972	205,707	
	直接経費 A	0	0	0	7,220	204,236	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	58,699
		地方債	0	0	0	6,800	141,800
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	420	3,737
人件費 B	0	0	0	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	5	8		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 7 (教005)</p> <p>【事業の概要】 昭和52年に建設された浜村小学校の校舎について、耐震補強工事を行った。        &lt;耐震改修&gt;        鋼板内蔵RC耐震ブレース14構面設置        &lt;老朽改修&gt;        外壁改修、屋上防水改修</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度で改修終了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度で改修終了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002982	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(河原第一小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	河原第一小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-44-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	河原第一小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	5,536	58,223	
	直接経費 A	0	0	0	4,784	56,752	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	14,007
		地方債	0	0	0	4,300	41,300
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	484	1,445
人件費 B	0	0	0	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
				実績	0	0	7	5	8	
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 7 (教006)</p> <p>【事業の概要】 昭和49年及び昭和50年に建設された河原第一小学校の校舎2棟について、耐震補強工事を行った。 &lt;耐震改修&gt; RC耐震壁7構面設置</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度で改修終了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成27年度で改修終了。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002983	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(明德小屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	明德小学校屋内運動場耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-45-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	明德小学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	平成27年度 耐震補強工事	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	4,517	27,263	
	直接経費 A	0	0	0	3,765	25,792	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	10,577
		地方債	0	0	0	3,400	14,900
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	365	315
人件費 B	0	0	0	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	5	8		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 8 (教0 0 7)</p> <p>【事業の概要】 昭和56年に建設された明德小学校の屋内運動場について、耐震補強工事を行った。 &lt;耐震改修&gt; 壁補強ブレース10構面、屋根補強ブレース6構面設置</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度で改修終了。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度で改修終了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000659	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校校舎施設耐震補強事業(北中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成28年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	北中学校校舎改築事業費			予算事業コード	01-09-03-03-25-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	北中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	改築工事を行い、安全の確保と教育環境の改善を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務	平成24年度 耐震補強工事 大規模改造工事	平成25年度 改築工事	平成26年度 改築工事	平成27年度 改築工事	
	年度別実績	耐震補強計画作成及び 評定取得業務	耐震補強工事 改築実施設計	改築工事	改築工事	改築工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	14,731	133,480	440,499	18,952	392,652	
	直接経費 A	13,981	132,737	439,042	17,448	391,181	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	35,902	140,363	9,862	81,862
		地方債	12,400	0	283,000	7,500	286,700
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,581	96,835	15,679	86	22,619
人件費 B	750	743	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	中学校施設の耐震整備の棟数	単位	棟	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	2	5	2	10	2						
	(指標の説明)												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 9 (教009)          9月補正予算・P 2 5 (教001)</p> <p>【事業の概要】          昭和36年～52年に建設された北中学校の校舎6棟が耐震性の低い建物と診断され、このうち5棟については補強工事だけでは耐震効果が得られないため、解体し、校舎改築を行う。校舎改築後は、教室棟(既存校舎)の改修及びグラウンド整備等を行う。          &lt;校舎棟&gt;          構造：鉄筋コンクリート造 地上4階建          建築面積：1, 217㎡          延床面積：3, 606㎡</p> <p>【事業の成果】          地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】          校舎改築は、平成27年度で終了。平成28年度は引き続き、渡廊下、大規模改修等の工事を行う予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か            ・対象と意図は現行でよいか            ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか            ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か            ・高い費用対効果が得られているか            ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か            ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	校舎改築は、平成27年度で終了。28年度は引き続き、渡廊下、大規模改修等の工事を行う予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000692	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(気高中屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成29年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	気高中学校屋内運動場耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-03-03-30-01
小中学校施設の耐震化率		73%	96%			

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	気高中学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	4,365	
	直接経費 A	0	0	0	0	3,629	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	3,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	629
人件費 B	0	0	0	0	736		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2
	(指標の説明)		実績	2	6	2	10	2	
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P231(教013)</p> <p>【事業の概要】 昭和43年に建設された気高中学校の屋内運動場が耐震性能の低い建物と診断され、補強工事が必要となった。平成27年度、平成28年度の2か年で耐震補強計画・実施設計を行い、平成28年度・平成29年度に耐震補強工事を行う。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度で工事完了予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから先行し公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成29年度で工事完了予定。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002957	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(桜ヶ丘中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	桜ヶ丘中学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-03-03-27-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	桜ヶ丘中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事	耐震補強工事 大規模改造工事	
	年度別実績			耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事	耐震補強工事 大規模改造工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	16,945	55,697	184,709	
	直接経費 A	0	0	16,216	54,193	183,238	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	4,917	52,770
		地方債	0	0	14,800	46,800	128,200
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	1,416	2,476	2,268
人件費 B	0	0	729	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	2	10	2	
				実績	0	0	2	10	2	
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 9 (教010)</p> <p>【事業の概要】 昭和54年及び昭和55年に建設された桜ヶ丘中学校の校舎2棟について、耐震補強工事を行った。          &lt;耐震改修&gt; 鉄骨ブレース16構面設置          &lt;老朽改修&gt; 外壁改修、屋上防水改修、トイレ改修</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度で改修終了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成27年度で改修終了。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002984	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(桜ヶ丘中屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	桜ヶ丘中学校屋内運動場耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-03-03-31-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	桜ヶ丘中学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務 耐震補強工事 大規模改造工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	1,153	144,211	
	直接経費 A	0	0	0	401	142,740	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	40,643
		地方債	0	0	0	0	99,500
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	401	2,597
人件費 B	0	0	0	752	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	2	10	2	
				実績	0	0	2	10	2	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								
	3				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P231(教014)</p> <p>【事業の概要】 昭和55年に建設された桜ヶ丘中学校の屋内運動場について、耐震補強工事を行う。 また、本屋内運動場は生徒数に対して狭隘なため、式典等の実施に支障をきたしており、その解消のため耐震補強工事と併せて増築工事を行う。          &lt;耐震改修&gt; 壁補強ブレース16構面、屋根補強ブレース14構面設置          &lt;増築工事&gt; 鉄骨造平屋建(一部2階建) 437㎡</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度に、耐震補強工事に着手した。平成28年度に改修終了を予定している。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度に、耐震補強工事に着手した。平成28年度に改修終了を予定している。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002985	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(南中武道館)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成30年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	南中学校武道場耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-03-03-32-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	南中学校武道館
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務  事業の再検討(増改築 ~)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	2	10	2
			実績	0	0	2	10	2	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P232(教015)</p> <p>【事業の概要】 昭和52年に建設された南中学校の武道場について、耐震補強・大規模改造工事を予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度に開催された校区審議会の審議結果をもとに、今後、見込まれる学級増に対応した施設として、平成30年度増改築に向けた事業の見直しを行った。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数			100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成27年度に開催された校区審議会の審議結果をもとに、今後、見込まれる学級増に対応した施設として、平成30年度増改築に向けた事業の見直しを行った。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000539	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	不登校対策事業(不登校対策)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	内部管理
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	不登校対策事業費			予算事業コード	01-09-01-03-12-01
小中学校施設の耐震化率		73%	96%			

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小学校・中学校、及びその児童・生徒
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市立小・中学校の児童生徒における学校不適応傾向の解消及び未然防止
手段 (どうするのか)	鳥取市学校不適応対策専門委員会でも不適応対策について総括的に討議し、学校不適応の未然防止と課題解消を推進する。特に地域を含めた中学校区の学校の連携を強め、小中の連続性のある不適応対策、児童生徒支援を行っていく。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		年度別実績	学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,088	1,811	1,807	2,594	2,587	
	直接経費 A	589	326	350	337	380	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	589	326	350	337	380	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	学校不適応対策専門委員会の実施回数	回	目標	3
	(指標の説明) 学校不適応対策専門委員会の実施回数		実績	3	3	4	3	3
2	スーパーバイザーによる助言指導回数	回	目標	18	18	17	17	17
	(指標の説明) 不適応対策専門委員がスーパーバイザーとして、学校・中学校区へ助言指導した回数		実績	35	25	21	23	17
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P239(教019)</p> <p>【事業の概要】 学校不適応の専門家や地域協力員の活用により、学校不適応の解消に向けた取組を行う。 ①学校不適応対策専門委員会、地域協力員の会、学校代表の会を行い、対策事業を推進する。 ②学校不適応対策専門委員会の委員を各学校に派遣し、助言や支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 学校不適応対策専門委員会(委員15名)を年3回開催。 地域協力員(委員60名)の会を年2回開催。 スーパーバイザーによる各校への指導助言を年間17回実施。</p> <p>【今後の課題・方向性】 不登校の背景も年々複雑になり、不登校児童生徒の出現率は依然高い状況にある。今後も不適応対策委員による方針のもとに、各小中学校や中学校区において、未然防止と早期対応を進めるとともに、各専門機関との連携を強化し不登校の解消に当たっていく。また、個別の事案に対して専門家を交えた支援会議を行うなどスーパーバイザー等の一層の活用を図り、不登校の改善をめざしていく。本市教育の重要課題である学校不適応の解消のためにも本事業の継続が必要であると考えている。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	学校不適応対策専門委員会の実施回数	100%	100%	133%	100%	100%
	2	スーパーバイザーによる助言指導回数	194%	194%	124%	135%	135%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の重要課題であり、15人の専門家で構成される鳥取市不適応対策専門委員会の方針決定により、各中学校区での未然防止、早期対応が行われている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市の方針に基づき、学校、専門機関、市教委が役割分担して不適応対策が推進されている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	15人の専門委員がスーパーバイザーとして各校や中学校区での事案対応、教職員研修等に関わっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各校及び中学校区不適応対策専門委員会には、地域協力員が出席して学校と連携を結び、また、15人の専門委員が事案に対してアドバイスを行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> 学校不適応の解消は、本市の重要課題でもあり、学校と地域、関係専門機関が連携して、学校不適応の解消に当たっている。今後、関係専門機関との早期連携、未然防止、早期対応のための情報共有の体制づくり等を充実・強化しながら、学校不適応対策をより進めていく必要を感じている。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000568	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	不登校対策事業(スクールソーシャルワーカー活用)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	内部管理
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	外部委託
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業費		予算事業コード	01-09-01-03-68-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小学校・中学校の関係諸機関との連携体制
意図 (どのような状態にするために)	教育と福祉に関係する諸機関と連携しながら子どもやその保護者に対応し、効果的な支援を行う。
手段 (どうするのか)	学校や関係諸機関との連絡調整やケース会議の運営、該当の児童生徒や保護者に対しての相談や働きかけを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成24年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成25年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成26年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成27年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	
	年度別実績	市内全中学校への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。	市内全小学校(44校)への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。	市内全小学校(44校)への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。	市内小中学校への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。	市内小中学校への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,236	4,051	3,961	4,911	6,288	
	直接経費 A	737	2,566	2,504	3,407	4,817	
	直接経費の財源内訳	国・県	491	1,713	1,669	2,271	3,211
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	246	853	835	1,136	1,606	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	相談支援の件数	単位	件	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	15	20	20	75	100						
	2	(指標の説明)	関係諸機関との連携及びケース会議の実施件数										
		目標	0	0	0	0	0						
	3	実績	0	0	0	0	0						
		(指標の説明)											

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P229(教028)</p> <p>【事業の概要】 小中学校におけるいじめ、不登校、暴力行為・非行といった問題行動等の諸問題に対しスクールソーシャルワーカーがコーディネーター役となり、教育と福祉に関係する諸機関と連携しながら、子どもや保護者に対応し、効果的な支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 ①関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整 ②学校内におけるチーム体制の支援 ③保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供 ④教職員等への研修活動等 平成25年度：2,503,750円(2名配置) 平成26年度：3,405,800円(3名配置) ※平成26年度は、8月より2名→3名 平成27年度：4,817,300円(4名配置)</p> <p>【今後の課題・方向性】 子ども達を取り巻く環境の急激な変化が、いじめ、不登校、暴力行為・非行といった問題行動等にも影響を与えている。こうした児童生徒の問題行動等の背景には、児童生徒を取り巻く環境の問題が複雑に絡み合っており、特に学校だけでは解決困難なケースについては、関係機関等と連携した対応が求められている。 学校からの相談事案に対して、福祉と教育の専門的知識や経験を生かして関係機関との連携に大きく貢献しており、大変有効であり、今後も事業の充実が必要であると考えている。また、今後補助率100%の事業となるよう要望したい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	相談支援の件数	200%	245%	430%	115%	184%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校不適應の解消には、学校と関係諸機関との円滑な連携が必須。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	教育と福祉の専門家が協力して事業に当たることで適切な関係機関との連携が迅速に行える。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校からの相談を迅速に対応するとともに、月例報告に基づく学校訪問を実施
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	相談事業に加え、随時の学校訪問を実施し、すべての児童・生徒を対象にしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>学校からの相談事案が増加している。福祉と教育の専門的知識や経験を生かして関係機関との連携に大きく貢献しており、学校不適應対策の取り組みとして大変有効であり拡充を希望する。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000567	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	内部管理
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特別支援教育支援員配置事業費			予算事業コード	01-09-01-03-66-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての小・中学校
意図 (どのような状態にするために)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援する。
手段 (どうするのか)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を派遣する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 支援員を24名配置	平成24年度 支援員を39名配置	平成25年度 支援員を25名配置	平成26年度 支援員を30名配置	平成27年度 支援員を35名配置	
	年度別実績	支援員を20名配置	支援員を23名配置	支援員を25名配置	支援員を30名配置	支援員を39名配置	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	26,656	31,309	33,235	38,884	45,995	
	直接経費 A	25,906	30,566	32,506	38,132	45,259	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	25,906	30,566	32,506	38,132	45,259		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	支援員配置校数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			校	目標	24	39	25	30	35	
			実績	20	23	25	30	39		
	(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置校数									
	2	支援員配置率	校	目標	0	0	53	53	52	
				実績	0	0	25	30	39	
(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置要望校における配置校数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 教育センター 0857-36-6060</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P241（教034）</p> <p>【事業の概要】 発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援するため、発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を派遣する。</p> <p>【事業の成果】 1 平成27年度の採用者は、教員免許の有無にかかわらず、一律に時間給880円での採用とした。配置希望校52校中、39校に配置することができた。要望校に対する配置率は、75%に高まった。 2 支援員を配置した学校では、特別な支援を必要とする児童生徒へ、早期に適切な声掛けや配慮をすることができ、個別の学習支援が充実した。 また、支援員を配置した学級では、支援員の対応を他の児童生徒が学ぶことによって障がいや特性のある児童生徒への理解が高まり、学級全体が落ち着いて学習に向かうことができるようになった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 配置希望校への配置率は、徐々に上がってきているが、十分ではない。数値目標を定めながらも、可能な限り、さらに配置率を高めることが課題である。学校規模等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	支援員配置校数	83%	59%	100%	100%	111%
	2	支援員配置率			47%	57%	57%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	通常学級に特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、適切な支援を早期に行い、子どもの成長を促すために本事業の目的は、妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	早期に適切な声掛けや配慮をすることができ、個別の学習支援が充実した。また、支援員を配置した学級では、支援員の対応を他の児童生徒が学ぶことによって障がいや特性のある児童生徒への理解が高まり、学級全体が落ち着いて学習できるようになった。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	通常学級の中で、共に学びながら、支援員を配置することで、一人ひとりに合った細やかな支援が可能となるため、とても効果的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	支援員の配置を要望している学校全てに配置できていない。学校規模等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	配置希望校への配置率は、徐々に上がってきているが、十分ではない。学校からの要望が高く、配置の効果も大きい。数値目標を定めながらも、可能な限り、さらに配置率を高めることが課題である。学校規模等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。	